

令和6年度 横浜緑園高等学校 第1回 学校運営協議会 記録

日時：令和6年6月6日（木）15時

場所：本校 会議室

司会：副校長

記録：広報・授業研究グループ

- 1 開会
- 2 新委員委嘱状交付
- 3 学校長あいさつ
- 4 出席者紹介
- 5 会長・副会長の選出
- 6 新会長あいさつ
- 7 各部会の運営について
部会の運営に関する資料について
- 8 今年度の学校運営方針について（令和5年度実施結果、令和6年度目標設定）
学校運営方針に関する資料について

9 各グループより報告等

教務グループ

- ・成績処理、時間割編成、年間目標、
- ・不登校生徒に対する対応 等

広報・授業研究グループ

- ・広報業務、中学校への情報発信、全公立展、学校案内およびポスター送付、学校見学、
- ・夏期講座
- ・授業評価
- ・職員研修業務 等

進路・キャリア支援グループ

- ・進路支援の具体方策
- ・専門学校および大学進学の情報共有会、スタディサプリ研修会、
- ・今年度の方針
- ・進路実績データの紹介 等

生活支援グループ

- ・生活指導・教育相談・安全指導の紹介
- ・SC・SSW を含めた教育相談体制の充実、かながわサポートドックを活かした個人面談の推進、
- ・自転車安全指導、遅刻指導 等

生徒活動推進グループ

- ・生徒会活動運営、部活動運営、部活動活性化
- ・インクルーシブ教育の充実
- ・学校行事 体育祭・文化祭・スポーツ大会の運営 等
- ※資料の訂正あり 櫛鷗祭→緑園祭

総務グループ

- ・中庭の整備、タイル舗装およびベンチ撤去交換
- ・分教室との連絡折衝
- ・防災訓練
- ・私費会計に関する事故未然防止 等

10 不祥事ゼロプログラムについて

不祥事ゼロプログラムに関する資料について

11 学校運営委員からのご意見

- 「生徒会の活動については、これからも継続して取り組んでほしい。リーダーを育成するような、社会に対してアピールするようなところを、伸ばして行ってほしい。目標設定については異論がない。」
- 「学校目標について、設定が定型的である。○○ができた、というときの根拠は一体何か。根拠を示さないと、委員としては最終的な判断に困る。数値目標を、どのように設定するか、工夫してほしい。リーダー育成に関して、地域のコミュニティ等でリーダーシップを発揮できるような教育を行ってほしい。探究活動を軸とした学校の教育のあり方について、教育課程作成について、是非積極的に行ってほしい。ICTの活用については、それが目標ではなく、手段であることをふまえて授業づくりに取り組んでほしい。修悠館高校との連携のあり方について、是非前向きに考えて取り組んで行ってほしい。」
- 「SC・SSWにかかる件数について、多いということであるが、どのくらいなのか。」
…担当者より状況の詳細を回答
- 「SC・SSWが学校に居る時間を増やすことはできないのか」
- 「SC・SSW、教育相談体制に関して、高校だけの問題ではないだろう、小学校ぐらいのころから問題を蓄積しているということもあるだろう」
- 「PTAが教育相談体制に関してどのようなことができるか…生徒への声掛けなど。サポートドックの制度は保護者にとってもありがたい面がある。」
- 「上級学校でも同様の傾向にあり、対応に苦慮している。生徒とのやり取りを通して、教員が疲弊することも問題である。」
- 「専門学校の事例について、色々と問題を抱えながらも、スクールカウンセラーを利用しないで辞めていく生徒がおり、そこに対するケアは十分ではないところがある。緑園高校での取り組みを具体的に聞いてみたい。」…増田総括教諭から、本校の具体的な状況を回答
- 「4年間のコロナ禍を経て、どういった教訓を得たのか、それをどのように活かしていくのか。」…担当者から、本校の状況を回答
- 「コロナ禍を経て、行事など学校のあり方を見直す良い機会になった。緑園高校の生徒の様子は良くなっているように感じている。この地域の諸学校の連携が進んでおり、良い傾向であると感じている。組織力を向上して、教育体制を充実させて行ってほしい。」
- 「自転車等の安全指導について、ぜひ関係機関と連携して深めてほしい。」

12 閉会